

天沼小だより

校長 大里 忠弘



人権について考えました

毎年、12月10日は「世界人権デー」とされています。1948年12月10日に第3回国連総会で世界人権宣言が採択され、1950の国連総会でこの日を世界人権デーとすることが定められました。日本の法務省では今年も12月4日から12月10日を「人権週間」と定め、全国的に人権啓発活動が展開されています。本校では、12月1日に全校人権集会を行いました。校長室からのライブ配信で、児童は各教室で校長の講話を聞きました。



今日は人権集会です。毎年、この時期になると「人権」について考えます。この人権という言葉、少し難しいですね。人権って何でしょう。説明できますか？

テレビ番組によく出演している芸能人に「出川哲朗」さんという人がいます。テレビ画面の中では、よく周りの人からからかわれたり、痛いことをさせられたりしています。それでもいつも笑顔で、周りの人を笑わせています。人気のある一流の芸能人だと思います。

この出川哲朗さんと道で出会ったら、皆さんはどうしますか？テレビで見ているとおり、「あ、出川だ。」などと気軽に声をかけるとしたら、それは大変失礼なことになります。出川哲朗さんという一人の人を大切にしていないことになります。テレビで見る彼の姿は、テレビ番組の約束ごとの中で作られている「出川哲朗」というキャラクターで、普段のプライベートの出川さんは、キャラクターではなく、一人の「人」として大切にされなければいけません。

私たちも、お互いのつきあいの中で、いじりキャラ、いじられキャラなどという雰囲気ですべて接してしまっていますが、相手を大切にする気持ちを忘れず、わざとではなくても、相手を悲しませ、傷つけてしまうことになります。いつでも、相手の気持ちを想像できる人でありたいです。

このあと、作文を1つ紹介します。中学生が書いた作文ですが、その人が小学校低学年だったときの思い出について書いています。小学生の皆さんでも十分分かる内容だと思います。

著作権の関係から、作文の転載はできません。どんな内容なのかは、お子さんから聞いてみてください。

この作文は、世の中から犯罪がなくなるには、というテーマで書かれました。

人をナイフで切りつけてしまえば、それは犯罪です。人を棒で殴ってしまうのも、犯罪です。相手が血を流さなくても、怪我をしなくても、心が痛く、傷ついてしまう心の傷を負わせるようなことをしてしまえば、これも犯罪と同じ事になるはず。皆さんは、間違っ、お友達を悲しませてしまうようなことはありませんか。心を傷つけてしまうようなことを言ったり、したりしていませんか。相手のことを思い、大切にすることが鈍くなると、将来、犯罪へとつながってしまうかも知れません。

困っている人を助けたり、一人である人に声をかけたりできる優しさを忘れないようにしましょう。